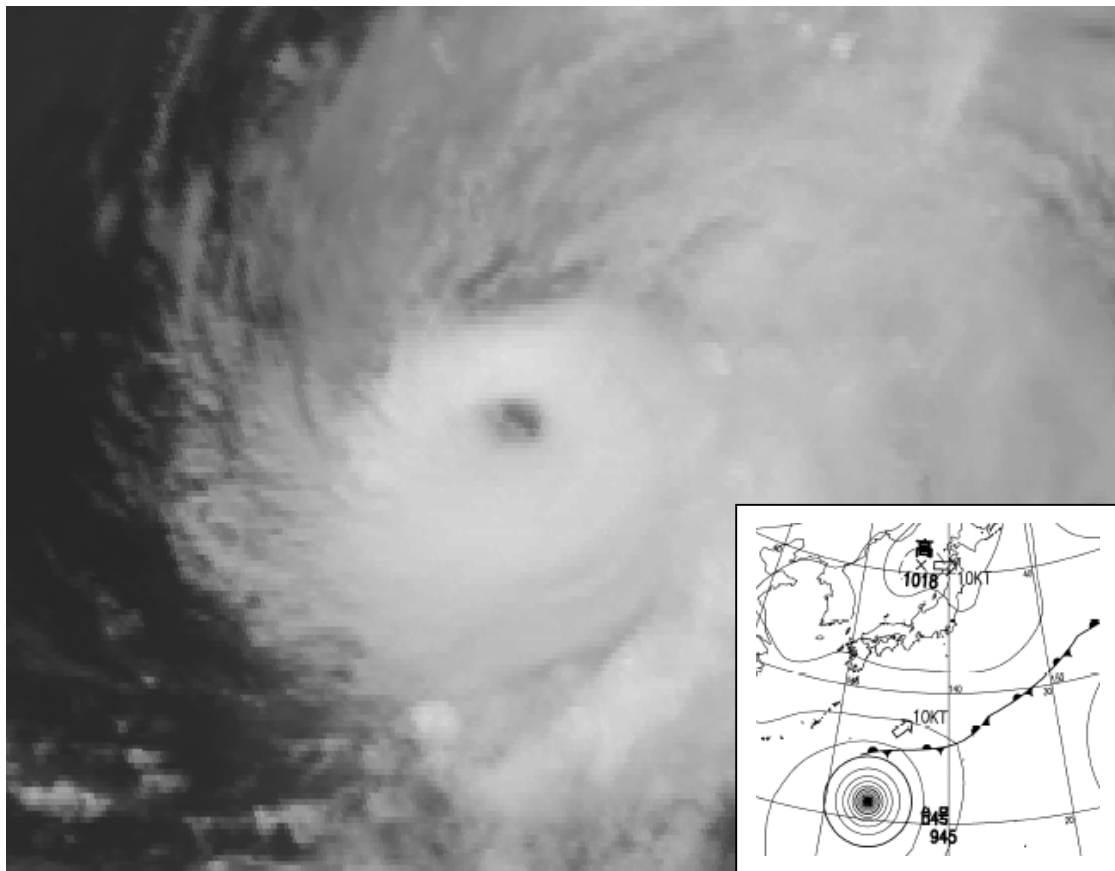


今月の気象衛星画像 (2005年6月)



2005年6月6日15時の赤外画像と速報天気図

中緯度帯をゆっくり北東進した台風第4号

通常6月にカロリン諸島付近で発生する台風は、北西進して大陸の方へ移動することが多い。ところが、6月1日09時に発生した台風第4号は、西北西から北北西へと時計回りに進路を変えながらフィリピンの東海上の北緯15度付近まで移動したが、その後は進路を北～北東へ変えて中緯度帯をゆっくり移動した。台風が中緯度帯に入ってもゆっくり北東進したのは、北東にある強い高気圧の影響と考えられる。

台風第4号は、高い海面水温の影響を受け、4日にフィリピンの東海上で中心気圧930 hPaと最も発達したが、その後、中緯度帯に入って再発達した。画像は、再発達した6日15時の赤外画像で、台風の中心に眼が見られる。再発達できた要因としては、海面水温の比較的高い場所を移動したことがあげられる。

(気象衛星センター)